

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月4日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社うかい
 コード番号 7621 URL <http://www.ukai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大工原 正伸
 (氏名) 潮 一生

TEL 042-666-3333

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	9,562	△0.7	556	0.5	445	3.2	△65	—
22年3月期第3四半期	9,628	△7.6	553	△27.1	431	△30.5	170	150.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	△13.38	—
22年3月期第3四半期	33.83	33.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	14,607	4,324	28.8	853.00
22年3月期	14,740	4,438	29.3	876.71

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 4,199百万円 22年3月期 4,316百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,300	0.1	325	△30.1	170	△45.6	△230	—	△46.71

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 5,229,940株 22年3月期 5,229,940株
② 期末自己株式数 23年3月期3Q 306,329株 22年3月期 306,240株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 4,923,627株 22年3月期3Q 5,054,882株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、各種政策の効果や外需主導で企業収益に一部回復の兆しが見られるものの、長期化する円高や慢性的なデフレ、厳しい雇用情勢等、依然として先行き不透明な状況にあります。

外食産業におきましても、デフレ基調が続く中で低価格化が進むとともに、生活防衛意識による消費者の節約志向は依然として高く、企業経営環境は厳しい状態が続いております。

このような状況のもと、「最も大切な企業価値＝独自の食文化」を見失うことなく、伝統は継承させ、時代の変化に即した新たな魅力を創出し、営業推進体制の強化を図り、「強い経営体質」「企業価値の向上」を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高9,562百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益556百万円（前年同期比0.5%増）、経常利益445百万円（前年同期比3.2%増）となりましたが、第2四半期において繰延税金資産の取崩しを行ったこと等により65百万円の四半期純損失（前年同期は四半期純利益170百万円）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

〔飲食事業〕

来客数は回復の兆しは見えつつも景気低迷にともなう消費マインドの冷え込みから依然としてゆるやかな減少が続いております。このような状況の中、各種様々なイベントやコース設定の見直し、サービスの拡充を図るなどの工夫を凝らした結果、客単価は増加傾向となりました。加え、通販事業の寄与もあり、飲食事業としては、売上高7,891百万円と前年並みに推移いたしました。主な状況は以下の通りであります。

和食事業では都心店である東京芝とうふ屋うかいは来客数を伸ばし売上に大きく貢献したものの、郊外店では季節を絡めた恒例のイベントを行い、集客を図るも第2四半期連結累計期間までの来客数の落ち込みを補うには至りませんでした。客単価は和食店舗全店が増加しており、この結果、売上高4,179百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

洋食事業では1年の中でも最も華やかなクリスマスイベントや「京焼 陶葎とうかい料理の華麗な世界」「『レイノア』の饗宴」といった器と食とのコラボレーション企画、あざみ野うかい亭5周年特別メニューなど様々なイベントを行った結果、都心店を中心に前年を上回る来客数となりました。この結果、売上高3,667百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

〔文化事業〕

文化事業におきましては、4月から11月まで、箱根ガラスの森で「レースとレース・グラス展」を、河口湖オルゴールの森で「ショパンからのメッセージ」と題した特別企画展を軸に、紅葉やクリスマスなどを絡めた各種企画やイベントを開催し集客を図りましたが、団体客を中心に来館者数の減少を主因に売上高1,671百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が343百万円増加したものの、繰延税金資産を取崩したこと等により、前連結会計年度末に比べ132百万円減少し、14,607百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、資産除去債務の会計基準の適用により152百万円を資産除去債務として計上しましたが、有利子負債が307百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ18百万円減少し、10,283百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、四半期純損失65百万円、剰余金の配当による減少49百万円等により、前連結会計年度末に比べ114百万円減少し、4,324百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ343百万円増加し1,655百万円となりました。当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は952百万円（前年同期は797百万円の獲得）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益382百万円、減価償却費423百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額54百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は244百万円（前年同期は107百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出205百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は364百万円（前年同期は951百万円の支出）となりました。主な要因は、社債の発行・償還、借入の実行・返済により有利子負債が純額で309百万円、配当金の支払い49百万円等の支出があったためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期通期業績予想につきましては、平成22年11月5日に公表いたしました内容から変更はございません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

（固定資産の減価償却費の算定方法）

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

（資産除去債務に関する会計基準の適用）

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は5,882千円、税金等調整前四半期純利益は60,349千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は150,233千円であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,655,349	1,311,474
売掛金	382,771	369,091
商品及び製品	176,218	163,676
原材料及び貯蔵品	257,777	230,870
繰延税金資産	46,889	70,793
その他	188,310	197,745
貸倒引当金	△216	△207
流動資産合計	2,707,101	2,343,443
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,427,839	11,194,710
減価償却累計額	△5,414,202	△5,083,972
建物及び構築物(純額)	6,013,637	6,110,737
土地	2,602,675	2,602,675
建設仮勘定	10,475	13,296
美術骨董品	1,267,216	1,267,710
その他	1,224,564	1,169,159
減価償却累計額	△965,844	△879,768
その他(純額)	258,720	289,391
有形固定資産合計	10,152,725	10,283,811
無形固定資産		
投資その他の資産	61,071	44,800
投資有価証券	22,834	20,776
繰延税金資産	610,235	1,002,645
敷金及び保証金	1,007,932	1,012,672
その他	45,524	31,906
投資その他の資産合計	1,686,527	2,067,999
固定資産合計	11,900,324	12,396,612
資産合計	14,607,425	14,740,056

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	332,522	277,874
1年内償還予定の社債	477,000	477,000
短期借入金	550,000	1,060,000
1年内返済予定の長期借入金	1,998,249	1,692,988
未払法人税等	37,126	22,884
賞与引当金	27,756	101,956
その他	699,829	595,779
流動負債合計	4,122,483	4,228,483
固定負債		
社債	906,000	1,187,000
長期借入金	4,449,156	4,265,875
退職給付引当金	615,118	575,049
資産除去債務	152,776	—
その他	37,623	45,251
固定負債合計	6,160,674	6,073,176
負債合計	10,283,157	10,301,659
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,291,007	1,291,007
資本剰余金	1,836,412	1,836,412
利益剰余金	1,629,489	1,744,587
自己株式	△563,100	△562,948
株主資本合計	4,193,808	4,309,058
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,042	7,589
評価・換算差額等合計	6,042	7,589
新株予約権	34,691	34,691
少数株主持分	89,726	87,058
純資産合計	4,324,267	4,438,396
負債純資産合計	14,607,425	14,740,056

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	9,628,471	9,562,741
売上原価	4,392,966	4,336,712
売上総利益	5,235,505	5,226,028
販売費及び一般管理費		
役員報酬	155,497	136,712
給料及び手当	1,605,921	1,614,157
賞与引当金繰入額	13,259	16,423
退職給付費用	34,346	34,898
賃借料	563,019	575,855
減価償却費	286,115	286,014
その他	2,023,834	2,005,569
販売費及び一般管理費合計	4,681,994	4,669,630
営業利益	553,511	556,397
営業外収益		
受取利息	3,809	3,798
受取配当金	499	583
保険解約返戻金	14,166	—
受取保険金	10,113	2,920
投資有価証券受贈益	—	5,026
その他	14,767	6,926
営業外収益合計	43,357	19,254
営業外費用		
支払利息	137,751	119,465
社債発行費	17,568	1,909
その他	9,827	8,678
営業外費用合計	165,147	130,052
経常利益	431,721	445,599
特別利益		
固定資産売却益	625	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	7,400	—
特別利益合計	8,026	—
特別損失		
固定資産除却損	4,878	8,266
固定資産売却損	6,450	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	54,466
出店計画中止損失	77,480	—
特別損失合計	88,808	62,732
税金等調整前四半期純利益	350,938	382,866
法人税、住民税及び事業税	21,888	28,871
法人税等調整額	150,485	417,188
法人税等合計	172,373	446,059
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△63,193
少数株主利益	7,569	2,668
四半期純利益又は四半期純損失(△)	170,995	△65,861

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	350,938	382,866
減価償却費	430,933	423,004
固定資産除却損	4,878	8,266
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	54,466
退職給付引当金の増減額(△は減少)	28,060	40,069
受取利息及び受取配当金	△4,309	△4,382
支払利息	137,751	119,465
出店計画中止損失	77,480	—
保険解約返戻金	△14,166	—
売上債権の増減額(△は増加)	△16,919	△13,679
たな卸資産の増減額(△は増加)	△21,138	△39,449
仕入債務の増減額(△は減少)	63,214	54,647
未払消費税等の増減額(△は減少)	△15,727	46,860
その他	△90,440	1,274
小計	930,555	1,073,410
利息及び配当金の受取額	5,559	5,632
利息の支払額	△125,644	△114,311
法人税等の支払額	△12,539	△11,779
営業活動によるキャッシュ・フロー	797,931	952,952
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△305,567	△205,320
有形固定資産の売却による収入	97,800	—
保険積立金の解約による収入	188,665	—
その他	△88,327	△39,607
投資活動によるキャッシュ・フロー	△107,430	△244,927
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,100,000	350,000
短期借入金の返済による支出	△1,460,000	△860,000
長期借入れによる収入	750,000	1,850,000
長期借入金の返済による支出	△1,228,334	△1,361,458
社債の発行による収入	882,431	98,090
社債の償還による支出	△381,551	△381,000
配当金の支払額	△50,685	△49,211
自己株式の取得による支出	△555,000	—
その他	△8,480	△10,570
財務活動によるキャッシュ・フロー	△951,619	△364,148
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△261,118	343,875
現金及び現金同等物の期首残高	1,526,553	1,311,474
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,265,434	1,655,349

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、本社に提供するサービス別の事業部を置き、各事業部は、提供するサービスについての包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業部を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「飲食事業」及び「文化事業」の2つを報告セグメントとしております。なお、「飲食事業」は和食事業、洋食事業及び通販事業の3つの事業セグメントを集約しております。

「飲食事業」は、和食料理及び洋食料理のディナーレストランの経営ならびにお土産品の通信販売をしております。「文化事業」は、美術館の運営として美術工芸品等の展示、商品販売及びレストラン等の営業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	飲食事業	文化事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,891,477	1,671,263	9,562,741	—	9,562,741
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3,960	3,960	△3,960	—
計	7,891,477	1,675,223	9,566,701	△3,960	9,562,741
セグメント利益	952,492	232,443	1,184,936	△628,538	556,397

(注) 1. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間
連結消去に伴う調整額	66
全社費用※	△628,605
合計	△628,538

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。